



寄付つき商品のご紹介

お買いものをしていただくと、その売上げの一部がさぽーとほっと基金に寄付され、町内会やボランティア団体、NPOなどが行う札幌のまちを笑顔にする活動に役立てられます。



オレンジリボンキャンペーンを通じた子どもたちへの支援

ポッカサッポロ北海道株式会社 様

ポッカサッポロ北海道株式会社様では、「子ども虐待防止オレンジリボン運動」を応援しており、同社の自動販売機の売上げの一部を「子どもの健全育成」の分野を指定してご寄付いただいています。



ブーツやシューズで子どもたちを支援

深瀬商事株式会社 様

婦人靴やバッグなどを販売する深瀬商事株式会社様では、寄付つき商品用の靴を開発され、その売上げの一部を「子どもの健全育成」の分野を指定してご寄付いただいています。



【取扱店舗】

UNISON WITH STELLAR PLACE店／recolte アピア店／little walk to a parkイオン発寒店・マルヤマクラス店／BOSTONイオン札幌手稲駅前店

「さっぽろール®シリーズ」でまちづくりの推進を支援

株式会社HYK 様

株式会社HYK様は、北海道産米粉を100%使用した米粉のまどれぬ®などを販売しており、「さっぽろール®シリーズ米粉のロールケーキ」の売上げの一部をさぽーとほっと基金へご寄付いただいています。また、令和3年度より「さっぽろまちづくりスマイル企業」認定企業、令和7年度からは「ゴールド企業」認定企業となっています。



「寄付つきドリップカフェ」で福祉分野に継続した支援を展開

株式会社宮田屋珈琲 様

株式会社宮田屋珈琲様では、1個の売上げごとに1円がさぽーとほっと基金に寄付される仕組みの商品「寄付つきドリップカフェ」を、各店舗で販売していただいています。



施設見学で子どもの健全育成を図る活動を支援

雪印メグミルク株式会社 様

雪印メグミルク株式会社様は、さぽーとほっと基金初の“スポット訪問型”寄付のしくみを確立していただきました。この取組では同社が運営する「酪農と乳の歴史館」の来場者数に応じた金額を、翌年のさぽーとほっと基金に「子どもの健全育成」の分野を指定して寄付していただけます。



「地元の魅力を世界へ」食からまちづくりを支援

株式会社APR TRADING 様

株式会社APR TRADING様は、札幌の魅力を世界に発信するグローバルカンパニーAPR GROUPの企業です。同社が販売している「さっぽろヒトとき。～まちのスペシャリティーコーヒー～」の売上げの一部をご寄付いただいております。



【取扱店舗】（※令和6年10月時点）

狸小路4丁目 ためきや／羊ヶ丘展望台／ONIYANMA COFFEE & BEER

発行 札幌市市民文化局市民自治推進室市民自治推進課

TEL: 011-211-2964 FAX: 011-218-5156

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎13階

E-mail: shimin-support@city.sapporo.jp

https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/kikin/

さぽーとほっと

検索



さっぽろ市
01-D02-25-2028
R7-1-126

SAPPORO

みなさまの寄付でまちづくりを応援する仕組み

さぽーとほっと基金

令和6年度年報



さぽーとほっと基金
マスコットキャラクター
キャッピー

札幌市

札幌市のまちづくり活動に 多大なるご支援・ご協力をいただき、 本当にありがとうございます。

令和6年度のさぽーとほっと基金は、これまでと同様に多くの市民や企業の皆様から善意のお気持ちをいただき、まちづくり活動の支援に役立てることができました。

平成20年度の創設より多くのご寄付を継続的かつ安定していただいております。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

市民、企業、行政の総力である「市民力」を結集し、心豊かで明るい札幌を将来の世代に引き継いでいくために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



札幌市長 秋元 克広

みんなで札幌のまちづくりを応援する 寄付の仕組みがあります

さぽーとほっと基金は、市民・事業者の皆様の寄付によって、福祉や子育て、環境の保全、安全・安心、被災者支援など札幌のまちづくり活動を支援する制度です。

まちづくりは“笑顔づくり”

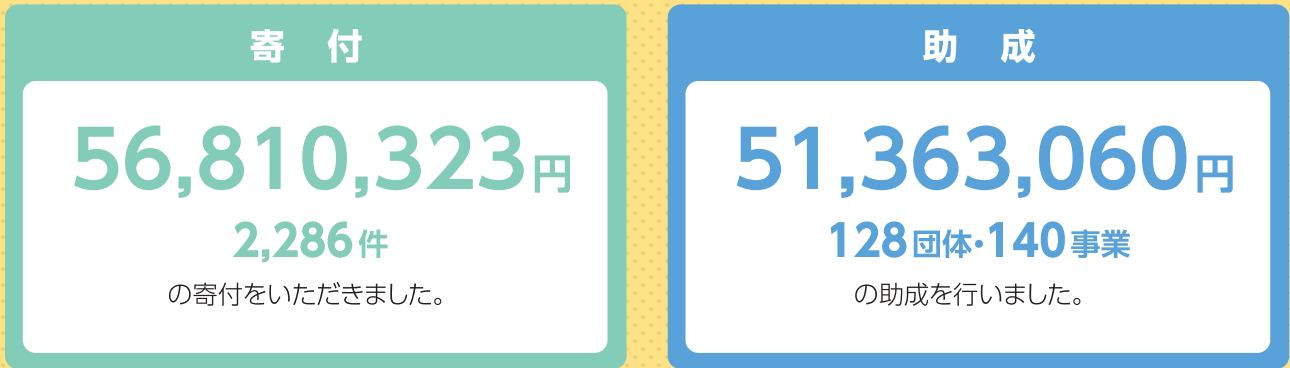
「私のまち」を、今よりももっともっと好きになれるように、そしてまわりの人に好きになってもらえるように、いろいろな活動を行っている人たちがいます。

それらの活動は、医療・福祉であったり、環境であったり、教育であったり、分野や取組の内容はさまざまですが、その活動はどれも「笑顔」があふれる社会につながっているのだと思います。

もっと住みよいまちにするために、そして、もっとまちに笑顔があふれるように、まちづくりとは、そんな思いで行われるすべての活動だと考えます。



／令和6年度 さぽーとほっと基金の実績／



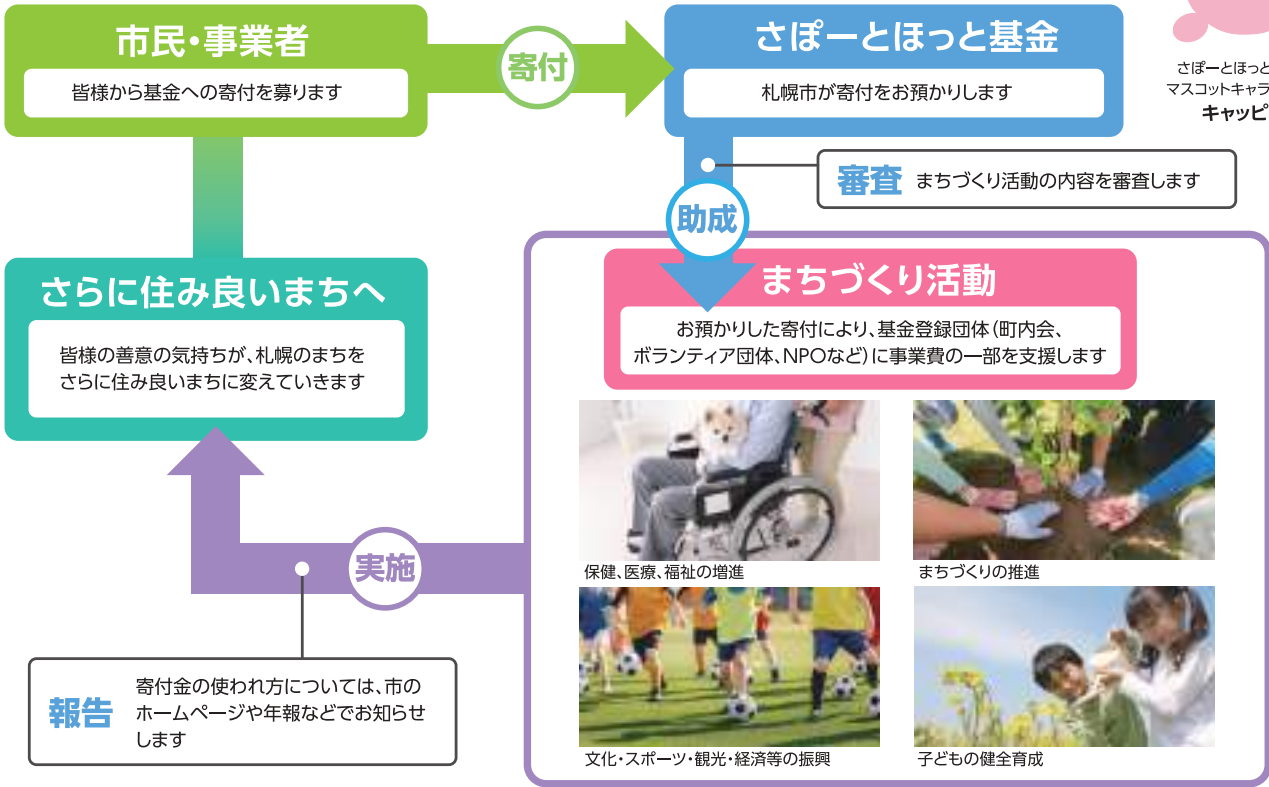
／これまでのさぽーとほっと基金の実績／

	平成20～30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累 計
寄付	944,949,509円	126,552,662円	80,130,453円	69,168,404円	79,328,811円	65,905,435円	56,810,323円	1,422,845,597円
	3,044件	525件	402件	717件	1,561件	1,519件	2,286件	10,054件
個人	977	279	292	622	1,439	1,428	2,207	7,244
企業・団体	1,803	225	88	74	100	91	79	2,460
助成	653,457,419円	75,657,759円	66,746,680円	46,404,940円	49,907,162円	47,962,550円	51,363,060円	991,499,570円
	1,086団体	153団体	132団体	100団体	130団体	130団体	128団体	1,859団体
	1,218事業	164事業	141事業	109事業	138事業	139事業	140事業	2,049事業

※複数回寄付をしてくださる個人・企業・団体がいらっしゃるため、寄付件数と個人・企業・団体別の寄付件数は一致していません(寄付件数は延べ)。

さぽーとほっと基金の仕組み

「さぽーとほっと基金」は、皆様の寄付で札幌のまちづくり活動を支える制度です。



思いにかなう寄付の行き先を選べます。

寄付先を下記の団体指定・分野指定から選べます。

「団体」、「分野」を指定できるので、「あのまちづくり活動を応援したい」というあなたの思いが尊重されます。

団体指定

寄付したい**団体**を指定できます。

※基金に登録されている団体に限ります。

▼ 詳しくはこちら

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/kikin/tourokudantai/index.html>



分野指定

【選べる4分野】以下のまちづくり活動の**分野**から指定できます。

①保健、医療、福祉の増進

②まちづくりの推進

- ・まちづくりの推進
- ・社会教育の推進
- ・災害救援
- ・人権の擁護、平和の推進
- ・情報化社会の発展

- ・環境の保全
- ・農山漁村または中山間地域の振興
- ・地域安全
- ・男女共同参画社会形成の促進
- ・消費者の保護

- ・①～④の各分野の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

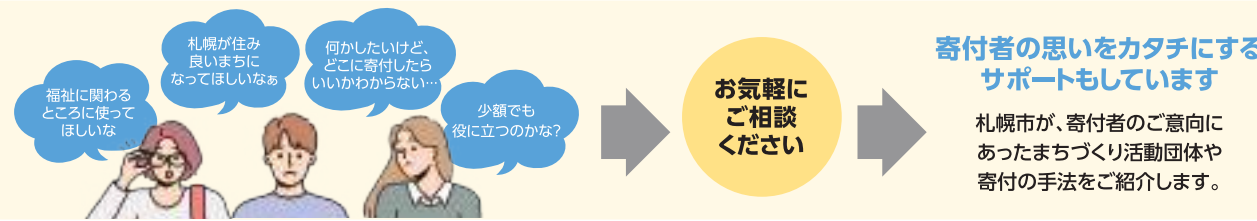
③文化・スポーツ・観光・経済等の振興

- ・学術、文化、芸術、スポーツの振興
- ・観光の振興

- ・国際協力
- ・科学技術の振興

- ・経済活動の活性化
- ・職業能力開発、雇用機会拡充

④子どもの健全育成



税負担が軽減されます。

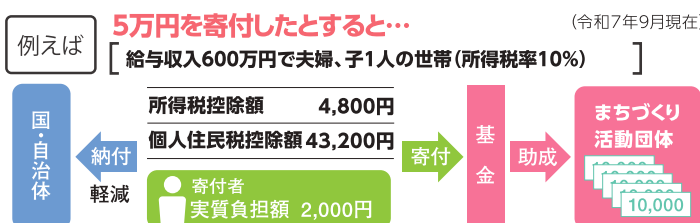
法人であれば法人税が、個人であれば所得税と個人住民税が軽減されます。

法人の場合

全額損金算入が可能です

個人の場合

所得税、個人住民税が軽減されます



「ふるさと納税ワンストップ特例制度」の申請が可能です。詳細は <https://www.city.sapporo.jp/somu/kifu/tax/index.html>

国や自治体に税金を納める代わりに市民によるまちづくり活動を直接応援することができます。

市民まちづくり活動団体へ直接寄付しても、寄付金控除の対象とはなりません。(ただし、認定、特例認定および指定NPO法人※を除きます)

※指定NPO法人とは
都道府県・市町村が条例で個別に個人住民税の寄付金控除の対象として指定したNPO法人

寄付していただいた場合

冠基金を設置

寄付額が個人500万円以上、企業等100万円以上の場合、ご希望により寄付者、企業のお名前等を冠した冠基金を時限的に設置します。

お名前を公表

ご希望により、お名前や企業名を札幌市のホームページや年報などでご紹介します。

ホームページで報告

寄付により、どのようなまちづくり活動が行われたかを、ホームページ上で報告します。

感謝状を贈呈

5万円以上ご寄付いただいた個人や団体に対して、感謝状を贈呈します。

寄付の方法

納付書で寄付する場合

- 1 札幌市ホームページ上の寄付申出フォームに入力し送信していただくか、または、寄付申出書に必要事項を記入し郵送・メール・FAXにてご提出ください。

▼ 詳しくはこちら

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/kikin/donation/index.html>

※市民自治推進課(Tel011-211-2964)までお電話をいただければ、郵送・メールで寄付申出書を送付いたします。



- 2 納付書を郵送いたしますので、お近くの金融機関でお振り込みください。

クレジット決済で寄付する場合

- 1 ふるさと納税ポータルサイトにアクセスしてください。
※上記URLもしくはQRコードから詳細をご確認ください
- 2 札幌市のページの申込フォームに必要な情報を入力します。
申込フォーム中の「寄付金の使い道を選ぶ」から、【市民活動の促進(さぽーとほっと基金)】を選択してください。
- 3 寄付申込み後に支払画面にアクセスし、クレジットカード情報などの必要事項を入力して手続き完了です。

新聞掲載・ホームページで紹介

企業などの社会貢献の取組は、ホームページで紹介しているほか、新聞にも掲載され、広く市民の方にお知らせしております。



新聞への掲載



2024年7月4日付 北海道建設新聞社



2024年9月20日付 北海道建設新聞社



2024年11月18日付 北海道建設新聞社



ホームページで紹介





札幌市では、市民まちづくり活動を応援するために、個人の方または企業様からいただいた一定額以上のご寄付に対し、寄付者のお名前等を冠した「冠基金」をさぼーとほっと基金内に設置しています。いただいたご寄付は、指定いただいた団体や公募により助成が決定した団体のまちづくり活動の事業費に、助成されています。

冠 基 金 名	基金設置年度	寄 付 者
ESG こども基金	令和6年度	株式会社ESG 様
武ダGEADこども未来基金	令和5年度	武ダGEAD株式会社 様 武友会 様
札幌生コンクリート協同組合こども育成基金	令和4年度	札幌生コンクリート協同組合 様
株式会社宮川建設こども基金	令和4年度	株式会社宮川建設 様 宮友会 様 株式会社宮川建設安全衛生協力会 様
あおぞら銀行札幌支店60周年記念 まちづくり応援基金	令和4年度	株式会社あおぞら銀行札幌支店 様
さくら佐藤建設株式会社 夢 みんなのまちづくり応援基金	令和2年度	さくら佐藤建設株式会社 様
札幌日信電子 まちづくり応援基金	令和2年度	札幌日信電子株式会社 様
北ガス 札幌市を元気に!まちづくり応援基金	令和2年度	北海道ガス株式会社 様
北央道路工業株式会社 地域あんしん基金	令和元年度	北央道路工業株式会社 様
エスエー こども応援基金	令和元年度	有限会社エスエービル 様
北電力設備工事(株)60周年記念 まちづくり基金	令和元年度	北電力設備工事株式会社 様
道路工業株式会社 夢クリエイト基金	令和元年度	道路工業株式会社 様
「あなたが健康だと、だれかがうれしい」健康応援基金	令和元年度	SOMPOひまわり生命保険株式会社 様
あいおいニッセイ同和損保 環境基金	令和元年度	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 様
「安田・三兼」まちづくり応援基金	平成30年度	安田興業株式会社 様 三兼建設工業株式会社 様
長内 芸術振興基金	平成30年度	長内 様
新弘設備工業55周年記念 まちづくり基金	平成30年度	新弘設備工業株式会社 様
株式会社水章工業 こども基金	平成29年度	株式会社水章工業 様
さくらマネジメントグループ基金	平成29年度	税理士法人さくら総合会計 様 株式会社さくら総合会計M&Aセンター 様 道央情報サービス協同組合 様 エス・バイ・エス事業協同組合 様 庵原 宏章 様 庵原 律子 様
アリヤス基金	平成29年度	株式会社アリヤス設計コンサルタント 様
北海道循環器病院 子どもさぼーと基金	平成28年度	大堀 克己 様
太陽グループ3億円基金	平成28年度	株式会社太陽グループ 様 東原 俊郎 様
株式会社フォルテック100周年記念こども基金	平成28年度	株式会社フォルテック 様 フォルテック協力会 様
札幌クリーニング協同組合環境美化基金	平成28年度	札幌クリーニング協同組合 様
アサヒ住宅福祉応援基金	平成27年度	アサヒ住宅株式会社 様
HRMホールディングスグループまちづくり応援基金	平成27年度	HRMホールディングス株式会社 様 北海道ロードメンテナンス株式会社 様 ロード機工株式会社 様 北海道ロード運輸株式会社 様 大善建設株式会社 様 ダイワ整備機工株式会社 様
札幌市管工事業協同組合あんしん基金	平成27年度	札幌市管工事業協同組合 様
明日佳グループ スポーツ振興基金	平成27年度	明日佳グループ株式会社 メディカルサポート 様 小野寺 眞悟 様
オークまちづくり元気基金	平成26年度	株式会社オーク 様 酒井 和子 様

冠 基 金 名	基金設置年度	寄 付 者
ひまわりピアサポート基金	平成26年度	木村 邦弘 様
小金湯さくらの森支援基金	平成25年度	札商・小金湯さくらの森募金協力会 様
北海道自転車産業協会まちづくり基金	平成25年度	財団法人北海道自転車産業協会 様
工藤桂一まるやま動物園応援基金	平成24年度	工藤 桂一 様の遺産
松前孝子こども基金	平成24年度	松前 孝子(こうこ) 様
CGCこども基金	平成22年度	株式会社北海道シジシー 様
イオン環境基金	平成22年度	イオン北海道株式会社 様 マックスバリュ北海道株式会社 様 株式会社ダイエー 様 株式会社メガスポーツ 様

基金を活用して社会貢献に取り組む企業・団体

地域とともに成長していく、企業・団体価値を高める
社会貢献活動を目指して

企業や団体の社会的責任が強く問われるようになった現在、社会貢献活動は、単なる慈善事業を越えて、事業者が地域とともに持続・発展していくために必要不可欠な「本業」の一つとなりつつあります。ここでは、地域とともに成長する企業・団体を目指して、さぼーとほっと基金への寄付を通じて社会貢献活動に取り組んだ事例を紹介します。



👑 オークまちづくり元気基金 👑 地域とともに札幌のまちを元気に 株式会社オーク 様



公共施設・商業施設等のボイラー及び圧力容器定期検査、整備工事、暖房設備及び各種配管工事など、高い技術力で道内全域をカバーする株式会社オーク様には、これまでも福祉や地域のまちづくり活動にさまざまな形でご支援をいただいてきました。さらに、亡くなられた株式会社オーク代表取締役会長の故酒井常雄様の財産を、地域社会発展のために役立ててほしいという思いから、さぼーとほっと基金にご寄付をいただき、平成26年度に冠基金「オークまちづくり元気基金」を設置していただきました。その後も継続してご寄付をいただいております。主に西区で行われるまちづくり活動へ助成させていただいております。

👑マークは、冠基金です。

👑 HRMホールディングスグループまちづくり応援基金 👑

みちでふれあうまちづくり

HRMホールディングス株式会社 様
ロード機工株式会社 様
大善建設株式会社 様

北海道ロードメンテナンス株式会社 様
北海道ロード運輸株式会社 様
ダイワ整備機工株式会社 様



HRMホールディングス株式会社様は、私たちの生活基盤となっている道路を、より快適に利用できるようにと、道路維持のプロフェッショナルとして事業を行われています。日頃から小学校と連携し交通安全運動などを行っており、平成27年度に設置いただいた冠基金「HRMホールディングスグループまちづくり応援基金」への追加のご寄付を通じて、継続してまちづくりを支援いただいています。

▶ 助成事業はP22に掲載

👑 札幌市管工事業協同組合あんしん基金 👑

水環境の保全を通じたまちづくりを支援

札幌市管工事業協同組合 様



札幌市管工事業協同組合様は、水道管の維持管理業務を行っており、水環境の保全やライフラインの確保など、安全・安心への思いから、平成27年度に設置いただいた「札幌市管工事業協同組合あんしん基金」に追加のご寄付をしてくださいました。また、さっぽろまちづくり活動情報サポーターサイト「まちさぽ」内に設置している、さぽーとほっと基金へのクリック募金にも令和3年4月からご参加いただいております。追加でご寄付をいただきました。

※令和6年度末をもってまちさぽは閉鎖しております

▶ 助成事業はP22に掲載

👑 ESG こども基金 👑

こどもたちの将来にたくさんの希望を

株式会社ESG 様



株式会社ESG様は、主に医療機関から排出される廃棄物の処理を行うことにより、社会の重要なインフラを支えている会社です。社員共通の認識として地域コミュニティへの貢献が重要だとの考えから、社会や環境と共存し持続可能な成長を実現するため「ESGこども基金」を設置されました。未来を担う大切な子どもたちが自分の将来に希望を持てるよう、また、子どもたちの人生の選択肢が増えるようになればと願われてのご寄付です。

👑 札幌日信電子 まちづくり応援基金 👑

地域の安心・安全な暮らしの実現に貢献

札幌日信電子株式会社 様



札幌市営地下鉄の自動出改札システムや鉄道信号保安装置など、地下鉄関連機器の保守メンテナンスを行う札幌日信電子株式会社様。社屋周辺清掃活動をはじめ、地域の防災・防犯や環境美化、子育て支援などに取り組まれています。札幌市への地域貢献として、市民活動を応援する思いから「札幌日信電子 まちづくり応援基金」を設置されました。地域社会とともに安心・安全な暮らしの実現を目指すという理念のもと、継続してご寄付をいただいています。

▶ 助成事業はP21に掲載

👑 札幌生コンクリート協同組合こども育成基金 👑

こどもの健全育成に向けた市民活動を応援

札幌生コンクリート協同組合 様



確かな品質の生コンクリートを提供するため、共同受注・共同販売により安定供給を行っている札幌生コンクリート協同組合様は、設立50周年を記念し、地域貢献の活動として、子ども食堂や子どもの居場所づくりなど、こどもの健全育成に向けた市民活動を応援したいとの思いから、さぽーとほっと基金へご寄付いただき、「札幌生コンクリート協同組合 こども育成基金」を設置されました。地域に暮らす子どもたちの健やかな育成のために、生コンクリート出荷量1㎡に対して1円を、今後も継続してご寄付をしてくださるご意向です。

▶ 助成事業はP22に掲載

👑 株式会社水草工業 こども基金 👑

こどもたちの健やかな育成を支えたい

株式会社水草工業 様



株式会社水草工業様は、創業以来培ってきた技術と稼働力をもとに、主に札幌市内の水道トラブルへの対応を行っています。長年、様々な地域貢献活動を行っており、札幌市内に住むこどもの健全育成のため「株式会社水草工業こども基金」を設置され、継続してご寄付いただいています。

▶ 助成事業はP20に掲載

👑 武ダGEADこども未来基金 👑
次世代を担うこどもたちに健やかな成長を
 武ダGEAD株式会社 様



「事業経営で企業の成長と発展をリードし、日本そして世界に貢献する」を目的に掲げ、多岐にわたる事業を手がける武ダGEAD株式会社様。地域社会・環境保全・関わるすべての人々に優しい存在であり続けたいという考えのもと、こどもやスポーツを応援されています。認定こども園・企業主導型保育園の経営も手がけ、次世代を担うこどもたちが健やかに育ってほしいという思いから令和5年に「武ダGEADこども未来基金」を設置。継続的に寄付を行われています。

▶ 助成事業はP19に掲載

文化芸術の振興と次世代の育成を広く支援
 株式会社セコマ 様



株式会社セコマ様は、平成23年7月26日に札幌市と締結した「さっぽろまちづくりパートナー協定」に基づき、さぽーとほっと基金を通じて市民まちづくり活動団体を支援するため、継続してご寄付をしてくださっています。今回で15回目のご寄付となり、子どもたちの健全育成の取組や医療・福祉の推進、文化芸術の振興などを支援されています。さぽーとほっと基金への寄付以外にも、幅広い活動に取り組んでいます。

こどもの健全育成を通じて豊かな地域づくりを
 北海道相互建設株式会社 様



北海道相互建設株式会社様は、札幌圏内を中心に公共工事のほかビル・マンション・商業施設などの民間建築工事を手がける会社です。「建築を通して人を豊かにする空間創り」をテーマに事業を展開されてきました。設立30周年を迎えるにあたり「豊かな地域づくりへの貢献に積極的に取り組んでいきたい」との思いからご寄付をいただきました。地域貢献の一環として、札幌市内に住むこどもたちの健全な育成を応援したいと願われています。

ともに発展してきた札幌のスポーツ振興を応援
 株式会社ヤシマ商会 様



株式会社ヤシマ商会様は、消防設備・弱電設備・電気設備の設計設置保守点検を手がけ、札幌市や北海道をはじめとした多くの皆様の命と財産を守っています。スポーツ振興への貢献には特に力を入れ、令和7度より野幌総合運動公園のネーミングライツを取得し「ヤシマ商会スポーツパーク」として多くの方々への認知度を高められています。設立70周年を記念し、ともに発展してきた札幌市へのご寄付を決めてくださいました。

未来を築くこどもたちの健全な育成を願って
 株式会社澤木テック 様



株式会社澤木テック様は、より信頼される豊かな創造を目指した「トータル・ディベロッパー」として主に上下水道管の布設や道路工事などの公共事業を行う土木会社です。北区の災害防止協力会への参加や新琴似駅前の毎月の草刈及びゴミ拾いなど、長年にわたる地域貢献に取り組んでこられました。会社の創立20周年を迎えたことを契機に「未来の日本を築くこどもたちの健全な育成を願って、お役に立てれば」との思いからご寄付をいただきました。



助成金交付実績

多くの方の寄付に支えられ、
“笑顔づくり”に向けた活動が
多様に展開

皆様の寄付をもとに基金の助成金を
受けて実施されたまちづくり活動を
事業ごとに紹介します。

〈掲載例〉

助成団体名	
助成金額	助成事業の紹介文
写真	



団体指定

北海道少年軟式野球連盟

助成金額 2,882,709円

エネサンスCUP争奪 全道少年軟式野球選抜大会



第31回を迎えるこの大会が、今年は記念すべき「第1回エネサンスCUP争奪大会」となり開催されました。全道から各支部代表16チームが集結し、(株)エネサンス北海道 今泉社長の始球式で大会が開幕。小学5年生以下の選手たちが熱戦を繰り広げる素晴らしい大会となりました。

特定非営利活動法人 セカンドサポート

助成金額 1,600,000円

インクルーシブフットボール

私たちの目的は、障がいのある子ども達の運動機会創出です。発達に遅れがある等の障がいを持つ子ども達が、スポーツを通じてルールや協調性を学び、身体を動かすことの楽しさを知り、スポーツへの興味関心を持ってもらえるよう取り組み、成果を上げています。

一般社団法人 札幌市小動物獣医師会

助成金額 2,434,991円

「人と動物が共生する社会の実現」を目指した実践活動



「札幌市動物の愛護及び管理に関する条例」第5条を実践する団体として、当会は広く市民に動物愛護精神を涵養する事を事業目的としています。特に「飼い主のいない猫の保護活動」を軸に、動物愛護・動物福祉を考えるきっかけにしたいと考えています。

北海道文化団体協議会

助成金額 1,000,000円

第6回こどもアール・ブリュット 北海道みらい作品展



札幌文化芸術交流センター「SCARTS」にて、障がいの有無にかかわらず、こどもたちの“枠にはまらない”自由な作品の展示を行いました。インクルーシブな社会の実現を目指し、作品展を通じてさまざまな境界が交わる場をつくっています。

白石区ふるさと会歴史文化委員会

助成金額 1,027,000円



児童誌発行事業

白石区内の小中学校の児童・生徒が制作した作文、詩、絵画等を掲載した『児童・生徒創作広場白石テラス「ななかまど」』の第4号を発行し、区内の小中学校、児童会館、図書館等に配布しました。

助成金額 930,420円



白石郷土館展示等計画事業

歴史資料展示スペース「白石郷土館」では、既存史料や自ら収集した一次史料に基づいた成果物を公開しています。白石区役所の開庁時間に合わせて開館していますので、皆様のご来館をお待ちしています。

助成金額 529,714円



令和6年度さっぽろ白石片倉鉄砲隊設立検討事業

白石市の片倉鉄砲隊本隊の事業に合わせ、当隊隊員を派遣し発砲演武の習得と向上に努めました。また、本隊員2名を招聘し、白石区ふるさとまつりで発砲演武を行いました。

団体指定

特定非営利活動法人 札幌いちご会

助成金額 700,000円

札幌市内の障がい福祉に関する 会報誌「いちご通信」の発行事業



障がい者が地域で自由に生きられるように、情報発信の活動を続けています。障がい当事者や関係者の方が、自身の生活や今の福祉に関して執筆した記事を会報誌に掲載し、当法人の会員や関係者へ送付しています。

特定非営利活動法人 環境り・ふれんず

助成金額 500,000円

桑園住民交流まちおこし事業



桑園地区の暮らしに役立つYouTube動画「桑園チャンネル」を毎月配信、また「コミュニティー食堂」を110回、「暮らしのお役立ち講座」を6回(23名)、「きまぐれナイト」を8回(29名)開催しました。

NPO法人わんハート 尊い命達と共に

助成金額 431,800円

札幌市の犬・猫が幸せになり、札幌市民と 楽しく暮らせる世の中を目指す活動



札幌市内小学校2校で保護犬・猫の命をつなぐ大切さについて道徳と総合の学習で出前授業を行いました。また、子ども食堂の「てらもぐ」では、保護犬のやさしさや性格を知ってもらうためにふれあい会を行い、保護犬を理解してもらいました。

NPO法人 つなぐ

助成金額 386,200円

地域食堂かば亭



豊平区東月寒地区の集会所「東月寒白樺会館」で月1回、地域の子どもと保護者向けに食堂を開催しています。毎回80名程度の方が、ボランティアが作ったご飯を食べ、食後はボードゲームなど思い思いの事をして過ごしています。

琴似中央小学校 KTハーモニー

助成金額 500,000円

地域文化(音楽)振興活動



地域の行事の中で、たくさんの地域住民の方に演奏を聴いていただくことができました。また、おかげさまで地域の中学生やお住まいになっている方々と共演する機会も増えてきており、活動の幅が広がってきています。

北海道容器包装の簡素化を進める連絡会

助成金額 487,363円

容器包装の簡素化を進める啓発事業



札幌市役所やイオン札幌苗穂店など、市内7カ所で容器包装の簡素化展示や市民アンケート、プラスチックごみ削減の勉強会を行い、多くの札幌市民へごみ減量及び資源の節減につながることを伝えることが出来ました。

特定非営利活動法人 ぐるーぽ・ぴの

助成金額 400,000円

冊子「地域と人の歴史を紡ぐ- 地域を知ろう!」作成事業



中央区の中央区町区内に属する第8町内会は4棟のマンションと地域の企業、病院、ホテル、銀行、水産ビル内の様々な会社、事務所などによって構成されています。そこで日頃接する事の少ない会員等の相互理解を深める為に、2022年から各企業、団体に話をして頂く会を開催し「地域を知ろう!」という冊子を発行してきました。

特定非営利活動法人 ひとり親とこどもふぉーらむ北海道

助成金額 371,615円

ひとり親家庭支援事業 ひとり親相談事業、 応援セミナー、交流の場、親子イベント、 就労支援事業



ひとり親のライフプラン、子どもの教育費についてセミナーを開催しました。お子さんの年齢に合わせて準備の方法や就学支援、奨学金について知ること、子どもの選択肢も広がります。否定されずに話せる聴きあう会も大切な場です。

助成金額 279,883円

ひとり親世帯等の振袖思い出づくり



家庭や経済的な事情により振袖を着ていない方に、手ぶらで参加して振袖を着て、記念の写真撮影をして思い出をつくるお手伝いをします。たくさんの方の振袖の中から自分の好きな着物を選び、メイク・ヘアセットをして撮影します。

定山溪沿線町内会連絡協議会

助成金額 316,905円

「小金湯さくらの森」と周辺地域の 知名度向上事業



「小金湯さくらの森」では、令和6年度も春・秋のお祭り時および地域(3箇所)で、ご来場の皆様に対し過年度に作成した「紙芝居」を使った読み聞かせ会を実施し、「小金湯さくらの森」の周知を行いました。

苗穂連合町内会

助成金額 300,000円

第12回サマーフェスタ苗穂& 子ども盆踊り

露店のほか、ラムネ早飲み大会、ゲームコーナー、大抽選会など大人も子どもも楽しめる企画が盛りだくさんのお祭り。夜は子どもたちがたたく太鼓に合わせて参加者みんなで盆踊りを踊るなど住民同士、交流を深めました。

特定非営利活動法人 太陽グループボランティアチーム

助成金額 300,000円



ボランティアを通じた各分野での社会貢献活動

養護園の子ども達との交流の為、子どもの日・クリスマスにお菓子を届け、夏はばんけいスキー場で行われる花火大会に、冬はスキー遠征に招待しました。秋には生振にて収穫祭の手伝い、地域の方々との交流を図りました。

子育て支援ワーカーズ ぐるんぱ

助成金額 267,350円



0才からのジャズライブ vol.3

地域の親子向けに、子育て中はなかなか体験できない生の演奏を楽しんでほしいと、ゴザ席やおもちゃなど工夫を凝らして開催し続け、3年目。0才の赤ちゃんから70代まで142名の来場者で盛り上がりました。

特定非営利活動法人 あかはなスマイルキッズ

助成金額 229,539円

子ども食堂事業

地域の会館及び活動拠点で子ども食堂を開催。子どもたちには学校と家庭のほかに、第3の居場所として安心して過ごせる場所を提供するとともに、親には相談できないことも相談できる関係性を構築しています。

こども食堂 ぐれ〜す

助成金額 279,000円



こども食堂ぐれ〜す

こどもとその保護者を対象として、第3・第4水曜日にこども食堂を開催しています。孤食防止として始めた活動ですが、近年の物価高に対応し、助成金を活用して安価で栄養バランスのとれた食事を提供しています。

札幌市学童保育連絡協議会

助成金額 254,418円



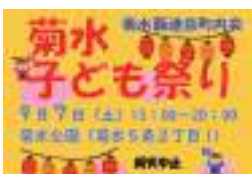
第22回オール札幌コマ・けん玉検定会

コマとけん玉の級・段の検定とともに、「教えるコーナー」や、今年は全学年が参加できる各種の競技会も用意し、連人も初心者も楽しめる検定会でした。自分自身の検定合格だけでなく、連人・名人の子どもたちの技をみんなで応援したり、会場全員で行う「大皿リレー」で一体感を味わったり、子ども大人も、体も心も動かし時間を過ごしました。

菊水西連合町内会

助成金額 215,850円

菊水子ども祭り



町内会が中心となって、地域の団体や商店の協力を得て開催。さまざまな世代の住民が来場し、緑の屋台メニューを楽しみながら、演奏やカラオケ大会、ゲーム等を通じて、住民同士の親睦を深めました。お祭りを開催することで、町内会の役割や地域での活動を知り、理解を深めてもらう機会を作ることができました。

一般社団法人 hug cafe

助成金額 200,000円

hug*cafe職業体験イベント



小学3〜6年生を対象に、いろいろな職業のママたちが内容を考えた職業体験プログラムを通して「将来の夢を考えることは単純な職業選択ではなく、自分の生き方を考えることである」というメッセージを伝えました。

特定非営利活動法人 北海道若年認知症の人と家族の会

助成金額 200,000円

「ひまわり通信」107号〜110号の発行



道内の若年認知症の人と家族の交流や理解促進、医療・介護制度の充実等を通じて地域社会の福祉の向上に寄与することを目的として諸団体と交流しながら活動しています。通信で紹介している家族の体験を冊子にしました。

特定非営利活動法人 はる

助成金額 211,350円

コミュニティカフェ Here



子ども食堂やキャンプ等を実施。子どもが調理に関わり交流を深め、食育や自立心の育成を行いました。防災食堂も実施して非日常や非常食体験をしたほか、異学年の子どもたちが40名集ったキャンプも含めて多世代の学びとつながりを築くことができました。

アマチュアバンドコミュニティさっぽろ

助成金額 200,000円

まちを元気にするコンサート2024



地域の老人クラブやマンション住民組織、地域活動団体のイベントや町内会のお祭りなど、たくさんの方に、生の音楽をお届けしました。地域の方がいつもの場所で音楽を楽しむことで、まちが元気になるしました。

特定非営利活動法人 女性サポートAsyl

助成金額 199,628円

生活に困窮する女性たちにアウトリーチするための炊き出し支援活動



女性向け炊き出し相談会「クラウディキッチン」は、複数の女性支援団体の「コロナ禍で困窮する女性たちの生活を守る」という思いから令和2年に始まりました。本事業では、温かい食事の提供と生活苦を抱える参加者全員への相談支援を継続できました。

NPO子ども達による「花いっぱい健康な町づくり」

助成金額 198,892円



NPO子ども達による「花いっぱい健康な町づくり」

美しい花に出合った子ども達の純真な心の輝きが、お花とお手紙のプレゼントを受け取ったお年寄りの心に喜びを届けます。その笑顔を見た子ども達は人を喜ばせる事の楽しさを体験し、子ども達の笑顔は私達に大切な何かを思い出させてくれます。

特定非営利活動法人 「飛んでけ!車いす」の会

助成金額 183,871円



25周年記念事業お助け! 車いすプロジェクト

総会25周年記念事業として、使われなくなった車いすを引き取り整備清掃を施したうえで町内会や病院、福祉施設等に「防災用車いす」として寄贈しています。その結果、札幌市から排出される大型ごみが500kg削減されました。

特定非営利活動法人 藻岩山きのご観察会

助成金額 150,000円

菌類普及啓発活動



市社会福祉総合センターで、北海道の光るキノコについて農学博士がキノコ講演会を開催。北海道森林管理局1階ホールでは、キノコ展と同時に食の安全を考える一環として市民が採取したキノコの解説を行い、多くの市民に喜んでいただきました。

東白石地区町内会連合会

助成金額 120,000円



東白石地区町内会連合会 第9回東白石ふれあいまつり

世代を超えた交流のなかで本物の舞を観てもらうことを目的に開催。200名の観客が和太鼓と合唱団の発表に心を打たれ、「故新和楽」桃太郎では斬新な発想に驚き喜んでいました。大人も子どもも素晴らしい時間を過ごすことができました。

宮の森盆踊り同好会

助成金額 102,995円

宮の森大倉山地区納涼盆踊り

宮の森のお稲荷さん横の空き地での盆踊りをルーツに、およそ70年の歴史を持つ盆踊り。昭和53年以降、北海道神宮宮司さんのご厚意で8月15日の北海道神宮末社開拓神社の例祭に合わせた「みたま祭」となって会場を神宮駐車場に移し、現在に至ります。

夏目のり子エンゼル会

助成金額 100,000円



札幌市全児童養護施設交流 野外レクリエーション

札幌市内の児童養護施設の子どもたちをさとらんどに招き、施設交流及び野外レクリエーションを実施しました。美味しいジンギスカンを食べ、SLパスに乗ったり、くじ引きも行い、大変盛り上がりしました。

北野地区町内会連合会

助成金額 163,020円

北野連町だよりの発行



地域住民の交流促進などさまざまな活動を行う町内会の理解を深めるため、北野地区町内会連合会が主催するイベントや活動状況、地域の情報などを広く伝える情報冊子「北野町連だより」を年2回作成し配布しました。

特定非営利活動法人 「飛んでけ!車いす」の会

助成金額 50,000円



ハロウィーンパーティーを通じた国際理解普及事業

米国出身の当会理事の監修のもとで本場のハロウィンパーティを開き、市内にお住まいの方向けに国際理解を深めていただく機会を設けました。「ハロウィンの歴史等の説明が勉強になった」という感想が多数寄せられました。

北白石連合町内会

助成金額 150,000円



リレハンメル五輪金メダリスト 阿部雅司さんから学ぶ〜北白石地区ノルディックウォーキング教室

高齢者の運動不足や冬道での転倒防止を目的に、リレハンメル五輪金メダリストの阿部雅司氏を講師に招き、地域の公園を会場として、腰やひざの負担を少なく足腰を鍛える「ノルディックポールウォーキング」の教室を開催しました。

特定非営利活動法人 モエレ沼公園の活用を考える会

助成金額 ￥103,325円

令和6年ふしぎヒコキーワークショップ



モエレ沼公園において、子どもたちの情操や豊かな感性を育むことを目的として、講師の飯島実さんをお招きした「ふしぎヒコキーワークショップ」を行いました。参加した50人ほどのご家族と共に楽しい一日を過ごしました。

おもちゃクリニック

助成金額 100,000円



おもちゃクリニック活動の拡充(年間の一般活動費)

当会では、就学前のお子さんから小学生を対象におもちゃ、また高齢者には癒しの人形等の無償修理を行っています。札幌市内で6箇所で定例の活動を行っており、修理のほかに子供工作教室も開催しています。

特定非営利活動法人 SEMIさっぽろ

助成金額 100,000円

札幌在住外国人への医療通訳派遣事業



札幌市内の医療機関に受診する外国人に同行して医療通訳を行っています。さまざまな診療科で、診察や検査、会計や薬局での薬の受取など多岐に渡る支援を行い、異国で病院にかかる際の心強いサポーターとなっています。

団体指定

特定非営利活動法人 北のごみ総合研究所

助成金額 100,000円

ごみ減量「元氣なうちに3Rで
お家を片づけよう」推進事業



ごみ減量やお片づけに困っている市民に、「相談窓口」と「お片づけ勉強会」の講師を派遣。相談窓口は桑園SDGs環境ひろばで月～土曜の11時～17時に対応しました。講師派遣は3団体へ紹介しました。

新琴似音楽祭実行委員会

助成金額 92,957円

しんことにテレビ



新琴似地域内外の皆さまに地域の魅力を改めて知っていただくための番組企画・撮影・編集・配信を行うとともに、地域団体等の活動記録動画作成依頼等にもできる限りの協力をしました。共に地域を活性化する一助となれたかと思えます。

東月寒地区町内会連合会

助成金額 69,300円

通学中の児童の安全確保に係る
交通安全啓発事業



地区内で通学中の児童が巻き込まれる交通事故が発生したことを受け、児童の安全確保のため、スクールゾーン時間帯にもかかわらず車が通行している区間の電柱に「通行禁止」の看板を設置しました。

秋桜「地域を花でかざろう会」

助成金額 46,824円

藍の生葉染め講習会(生葉染め
指導者の育成も目指して)



私たち「秋桜」は、札幌市北区の遊休地にある「ふれあい花畑」を拠点に緑化活動をしているボランティア団体です。今年も、地域の歴史を伝承するために、藍の生葉染め講習会を行いました。当日は、会員や地域の方々、子どもたち含め40人程と共に、花畑で採れた藍の葉を摘み、世界でひとつの作品が出来上がりました。

特定非営利活動法人 コンカリーニョ

助成金額 0円※

住民参加 温故知新音楽劇
第13回公演「おしゃな魔女
マドモアゼル・ミチコ」



※助成金を活用せずに事業を実施できたため、0円となりました

当団体が運営する「コンカリーニョ」という劇場を拠点に、異文化異世代が集まり、一つの作品を創作。今回は昭和・平成・令和の時代を駆け抜けた女性のインタビューを元に物語を創り上げ、劇場を訪れた方にも楽しんでいただけた。

さっぽろレインボープライド実行委員会

助成金額 500,000円



LGBTパレードを通じた、性的マイノリティ当事者の抱える諸問題(存在の否定・孤立・社会制度上の不平等)の解消に関する事業
本事業では、札幌市拠点にLGBTQを含む性的マイノリティの人たちが自分らしく生きられる社会を目指して「LGBTQについて知らせる」「LGBTQのつながりを作る」「LGBTQから社会を変える」の3つを軸に、広く多様性を訴えるための取り組みを実施しました。

札幌市少年軟式野球連盟

助成金額 100,000円



太陽球場記念 第1回FUJIジャパン
旗争奪少年野球大会

市内129チームが各区で予選を行い、勝ち抜いた24チームが3ブロックに分かれてトーナメント戦。勝ち上がった3チームが決勝リーグ戦を行いました。子どもたちは野球ができる喜びと感謝を忘れずにプレーをし、そのひたむきな姿や一球の行方に球場は大きな歓声と拍手に包まれました。

Hokudai Food Bank

助成金額 75,356円



中高生とフードロス、フードセーフ
ティネットについて考える
フードバンク事業

北海道大学生生活協同組合(北大生協)の店舗で廃棄される食品(食品ロス)を活用し、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会(SYAA)が運営する施設複数箇所でフードバンクを実施しています。

特定非営利活動法人 Kacotam

助成金額 64,492円



アドボカシー事業
講演会「一時保護の現状について」

札幌市民交流プラザにて、虐待等の子どもの社会課題に関心のある一般市民を対象に、講演会を実施しました。一時保護施設における学習支援を通して目の当たりにした子どもの現状を市民に知ってもらうために企画しました。

札幌市ACSネットワーク事務局

助成金額 25,660円

第12回札幌市ACSネットワーク
市民フォーラム「心臓救急2025」

栄養士、消防隊、医師を講師に「札幌市健康・栄養調査に基づく減塩対策」「札幌市における救急業務の現状」「急性冠症候群の最新治療と予防」のテーマで講演会を行いました。市民を対象に、オンライン・会場のハイブリット形式での開催としました。

分野指定：まちづくりの推進

特定非営利活動法人 福島の子もたちを守る会・北海道

助成金額 500,000円



～親子ですぐず夏休み in 北海道～

札幌大学セミナーハウスで7月30日～8月5日まで6家族17名の親子を受け入れ保養事業を実施。大学生と交流しアイヌ文化を学んだり管弦楽演奏を聴いたりして楽しみ、円山動物園や札幌市内見学も行ってリフレッシュすることができました。

特定非営利活動法人 消費者支援ネット北海道

助成金額 500,000円



不当な契約約款及び不当表示は正のための申入れ活動及び事業者が消費者に対し、不当利得を得ていた場合の被害回復事業
当団体は差止請求権及び被害回復請求権を持ち、消費者の利益のために活動しています。昨年度は、歯科医院の高額キャンセル料や建物賃貸契約での不当条項、ホームページ上の不当表示などへの申し入れを実施。ほぼすべての事案で改善に結びつきました。

分野指定：保健、医療、福祉の推進

札幌認知症のひとと家族の会

助成金額 400,000円



40周年記念事業

昭和59年の結成以来、当会では認知症への理解、認知症本人や家族への支援と福祉の向上を目指してきました。40周年を記念した式典・講演会には会員、関係者役180名が参加。感謝状贈呈や杉山孝博先生による講演を行い、今後に向けた新たな出発点となりました。

全国ギャンブル依存症家族の会 北海道

助成金額 330,772円



全国ギャンブル依存症家族の会
北海道

家族が孤立せず共に支え合えるよう、札幌市で市民や家族を対象にセミナーと相談会を開催し、ギャンブル依存症から回復の一歩を踏み出す希望とつながりを広げました。

特定非営利活動法人 さっぽろ犯罪被害者等援助センター

助成金額 160,000円



犯罪被害者等に対する相談・援助
支援事業

札幌市中央区の道民活動センター「かでる27」で、一般市民および犯罪被害者を対象に弁護士や医師等専門家による講座やシンポジウムを開催しています。経済・心身・生活の回復のための法制度や自治体施策等についての内容で、令和6年度は6月・9月の講座と、総集編として10月にシンポジウムを開催しました。

分野指定：学術、文化、芸術、スポーツの振興

北大白銀祭実行委員会

助成金額 455,394円



第4回北大白銀祭

学生や札幌市民の憩いの場である北海道大学の中央ローンにて「白銀祭」というイベントを開催して、在校生や地域住民、世界の方々に冬の北大・札幌の魅力を伝えています。

一般社団法人 北海道二期会

助成金額 200,000円



教文オペラプログラム
北海道二期会創立60周年記念公演
喜歌劇「こうもり」

創立60周年を記念し、また札幌市教育文化会館の大改修を終えたリニューアル公演として実施しました。世界的に祝典に公演されることも多い、喜歌劇最高峰の作品を二日間満席のお客様に楽しんでいただきました。

北大金葉祭実行委員会

助成金額 0円※



第13回北大金葉祭

北海道大学札幌キャンパスの魅力向上と地域内外への情報発信、ならびに学生・地域住民・観光客の交流促進を目的とする事業です。いちよう並木の黄葉が特に美しい10月末に、ライトアップと各種屋台の出店を行いました。

※助成金を活用せずに事業を実施できたため、0円となりました

特定非営利活動法人 ニルスの会

助成金額 345,625円



「農体験」を通じた「健康増進」と
「地域共生社会」の実現

「ニルスファーム」の運営を通して、高齢者の健康づくり・生きがいづくり、および隣接する保育園の園児との多世代交流を目的に活動しています。マルシェでは、ファームで採れた野菜や果物を販売しています。

一般社団法人 札幌YWCA

助成金額 215,277円



シニアのための歌の会

山鼻地区には多数の高齢者が居住しています。その方々が健康に日々を送り、顔の見える関係を築けるように歌の会を始めました。開始当初は2～3人の参加でしたが、今では、参加者が10名を超えるようになりました。

劇団 HASCAP

助成金額 150,000円



劇団HASCAP 定期公演

知的障がいを持った青年が通う「チャレンジキャンパスさっぽろ」という福祉施設の劇団です。11月16日・17日にやまびこ座でミュージカル「おおーい!もだち!!」をたくさんの方が見てくれる中で公演することができました。

札幌市東区文化団体協議会

助成金額 300,000円



「第37回邦舞まつり」の開催

伝統芸能を継続することは大変なことで、特にお金がかかります。さらに、レベルを上げるためには舞台が必要であり、観客なしでは夢を与えることもできません。東区文化団体協議会の会員は芸術を求めて邁進しております。

札幌観光ガイドの会

助成金額 100,000円



ウォーキングガイドの新コース
「円山原始林と北海道神宮」を設定しHPに掲載。札幌市民や観光客に新たな魅力の発信をし観光需要の創出につなげる事業

ウォーキングガイドの新コース「円山原始林と北海道神宮」を設定し、会のHP「サイトDEさっぽろ」に掲載して新たな魅力を全国に発信。お陰様で札幌市民をはじめ全国からお申込みをいただき大変好評を博しております。

分野指定：子どもの健全育成

さっぽろキッズイベントーCoCo

助成金額 450,000円



ものづくりとコミュニケーションで親子の絆を深める事業

ママが日々の子育てのストレスを子どもの笑顔によって解消し、安心できる子育て環境を作ることを目的に4イベントを開催しました。札幌の子育て世代に向けて、ペタペタアート、えほん講座、ワークショップが体験出来るイベントを実施しました。

一般社団法人 サステナビリティ・ダイアログ

助成金額 350,000円



宇宙船地球号ミッション！2024～幸せな「つながり」を見つけるワークショップ～

札幌市内の会場で、小学生と見守りの大人が“皆が幸せに暮らせる宇宙船のコンセプトを設計”という課題に取り組み、「幸せとは何か？」を考えました。「持続可能な社会」と「日々の暮らし」とのつながりを理解するための学びを2日間体験しました。

認定特定非営利活動法人
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

助成金額 360,480円



学校へ通えない児童のための、豊かな自然体験や文化活動の機会提供

学校へ通えない児童の体験の場として、大型公園散策や施設見学、公演の鑑賞やスポーツなど様々な企画を実施しました。子ども達が人とのつながりを築いたり、興味を広げるなど生き生きと活動できる機会になりました。

Veitu(ヴェイツ)石狩

助成金額 57,600円



Veitu 石狩～身体塾～

新型コロナウイルスの世界的蔓延という未曾有の事態に見舞われ、大人はもちろん、子ども達にも日常生活が厳しく制限されました。その大きな代償として『子ども達の体力・筋力・持久力・神経系の発達不足』が起こったことを受け、回復に向けた教室を小中学生と、その保護者対象に実施しています。

冠基金：アサヒ住宅福祉応援基金

特定非営利活動法人 アート・ウィズ・ライト臨床美術

助成金額 200,000円

第一回つながるアート展-アーツセラピーの仲間たち展-

札幌文化芸術センターSCARTSモールBにおいて、全ての方を対象に、臨床美術による絵やオブジェを250点以上展示。「紙やすりに描くデザイン画」などのワークショップを5回開催。アーツセラピー(音楽療法、園芸療法、ダンスセラピー、臨床美術)をポスターやパンフレットで紹介しました。

男性料理クラブ 『豊丁の会』

助成金額 62,048円

男性料理クラブ『豊丁の会』(料理の基本と調理実践を学ぶ会)

当会は豊平区在住のシニア男性のための料理クラブで、毎月1回の料理教室を重ねております。当会の活動検討会の席で、「高齢者への食事提供」案が浮上したことから基金の申請に至りました。そして福祉さつき会(老人会)の了解を得て地域限定のランチ会を実施し、高齢者14名を無料ご招待しました。

冠基金：新弘設備工業55周年記念 まちづくり基金

ピンクリボン in SAPPORO

助成金額 300,000円

ピンクリボン in SAPPORO 2024



9月1日チカホにて開催。地元の大学生とコラボしたステージイベントをはじめ、マルシェや啓発ブースを行いながら1,000名以上の方に啓発リーフレットを配布し、幅広い世代に楽しみながら乳がん検診の大切さを発信しました。

ハンディキャップシアターShow Time

助成金額 87,289円

ハンディキャップシアター Show Time 公演



私たちは知的障がいを持った青年が集まり結成した劇団です。「オープニング」「火花」「独語(ひとりごと)」の演目をリフレサッポロライラックホールで公演しました。たくさんの方々の方に笑いに包まれた公演でした。

冠基金：「安田・三兼」まちづくり応援基金

特定非営利活動法人 TSUNAGU

助成金額 500,000円



地域の子供から大人までみんなで考え取り組む「ヒグマを寄せ付けないまちづくり」事業

ヒグマの市街地出没増加を受けて、本活動では市民と共に取り組む「ヒグマを寄せ付けないまちづくり」を掲げ、市民主体の事前防除を目指します。具体的には、座学とワークショップによるヒグマ学習、草刈り、ゴミ拾いの普及活動に取り組んでいます。

さっぽろアートビーンズ

助成金額 200,000円

十人十豆展 -秋時きアート-



札幌軟石蔵を利用したHUG(北1東2)で、地域の作家による美術展を開催。みなさまがアートに触れて楽しみ、文化的なまちづくりに役立つことを目的にしました。ギャラリートークの様子はYouTubeで公開中!

冠基金：ひまわりピアサポート基金

特定非営利活動法人 多様な学生の支援を本気で考える会

助成金額 220,000円

高校生、専門学校生、大学生の精神疾患の理解促進事業



高校生・専門学校生・大学生、教職員及び保護者を対象に、メンタルヘルスや障害者の就職、合理的配慮などについての説明会を実施しました。またそこから直接相談に繋がる学生が10名以上いらっしゃいました。

特定非営利活動法人 レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク

助成金額 200,000円

ひきこもりに対する偏見をなくす 理解啓発促進事業



ひきこもりへの偏見をなくす目的で、①道産こもり179大学の開催、②リーフレットを電子版と紙媒体版3,000部製作し広く周知、③当事者発信会報誌を年6回電子版と紙媒体版各100部作成、これらの3本柱で活動しました。

どさんこスタディ

助成金額 100,000円

産後母親の身体メンテナンスや正しい育児動作・姿勢を指導する健康増進事業



産後母親に起こる身体トラブルの予防・改善に理学療法士が関わる必要性を感じ、病院会議室で、産後1年未満の母親に対し、運動教室のほか、バランスや姿勢チェック、育児動作指導などを1時間程度行ないました。

冠基金：北ガス 札幌市を元気に!まちづくり応援基金

清田演劇のつどい

助成金額 300,000円

第15回清田演劇のつどい「亀、もしくは…」



札幌座の名作舞台を清田区民センター(清田区清田1条2丁目)で上演しました。近隣住民が観劇体験を共有する新しいまちづくりを目指して平成17年に産声をあげた「清田演劇のつどい」。15回目を好評、盛況裡に終えました。

冠基金：あおぞら銀行札幌支店60周年記念 まちづくり応援基金

新琴似音楽祭実行委員会

助成金額 500,000円

新琴似音楽祭



新琴似中央公園で地域住民はもとより多くの地区外からの観客の皆様にも音楽や飲食を楽しんでいただくとともに、町内会加入促進PRコーナーを設け日常を支えている町内会の活動を知ってもらい地域活動への参加を呼び掛けました。

冠基金：アリアス基金

特定非営利活動法人 三角山

助成金額 500,000円

第11回いっしょにね!文化祭



障がいのある人もない人も楽しめる文化祭を目指し、ステージでの生出演に加え、障がい等で外出が困難な方も映像作品で参加していただきました。会場にはパラスポーツ体験コーナーを取り入れ、活動の広がりを見せています。

特定非営利活動法人 ホッカイドウ・アニマル・ロー

助成金額 260,000円

人と動物(ペット)が住み慣れた地域で暮らすために必要な知識を深めながら地域住民との関わりと向き合う事業



本事業は、飼い主及び一般市民を対象に、住み慣れた地域で飼い主とペットが互いに生涯を終える生活を視点とした各種セミナーを実施し、飼い主と地域住民との関係の構築に繋がる共生社会を目指した事業を実施しました。

NALC(ナルク)札幌

助成金額 240,000円

文化祭と交流会一生涯学習をとおして認知症予防と健康寿命をもっと延ばそう!



事業名に記載したスローガンで、ミニ講演・男声コーラスの歌・更に自前の「ピンコロ劇団」による笑劇で、麻生地区会館に於いて110名の麻生地域の方々の参加を得て、楽しい思い出に役立ったことと思います。

冠基金：さくら佐藤建設株式会社 夢 みんなのまちづくり応援基金

一般社団法人 清田区風の谷協働研究ラボ

助成金額 230,000円

最新知見に基づくキツネとの付き合い方啓発事業



7月14日厚別区民センター、10月27日北野福祉まつりにおいて「暮らしの疑問解決セミナー”キツネとエキノコックス”」を開催。エキノコックス研究専門家の浦口宏二氏より生活に即した実践的な対処について解説のあと参加者から日頃の疑問や不安など活発な質疑応答が行われました。

冠基金：あいおいニッセイ同和損保 環境基金

札幌キノコの会

助成金額 250,000円



札幌近郊のキノコに親しみ、行政や研究機関等と協力して食の安全を目的とした研修、キノコ展を開催し、自然尊重、環境保全を目指す事業
あいおいニッセイ同和環境基金250,000円助成金でキノコクリアファイルを作成・配布したほか、公開講座「桜山キノコ」では会員681名一般329名が参加しキノコ445種を同定しました。南区きのこ展、白樺山キノコ展にも多くの来場者が訪れ好評でした。

冠基金：札幌クリーニング協同組合環境美化基金

特定非営利活動法人 北のごみ総合研究所

助成金額 480,000円



「高齢者のごみ問題」を考え、3Rでお片づけを進める
ごみ減量事業

札幌市民に向けた「お片づけ講座」を7月9日と11月20日に開催し42名が参加。また「高齢者のごみ問題を考えるシンポジウム」を11月7日に国際ホールで開催し45名の参加。ごみ減量動画を5本作成し9月～1月に配信しました。

ポケット企画

助成金額 500,000円



UniqueRhythmic Presents
わんわんズ&ポケット企画合同公演
『小さな家と5人の紳士』

ポケット企画とわんわんズの合同公演を、より地域に根ざした空間で行い手軽にアート活動に触れられるような公演活動を行いました。『日常を面白がる目線』を別役作品の上演から感じてもらうことを目的として活動しています。

草笛墨生会

助成金額 240,000円



書の文化を広める事。また書を通して
学び合い、作品の発表などから目的の
ある活力を生み出す事業

漢字・かな等、書の方野も多様であり、口ウで文字を書き色付けをするローケツ書を知ってもらうため、はがき大の小作品も10点展示しました。皆さんが関心を持ってくれたこと、来場者が2倍の480名となったことなど、書を知ってもらう良い機会になりました。

冠基金：長内 芸術振興基金

劇団 風蝕異人街

助成金額 540,000円



ギリシャ悲劇 「メディア」

札幌の「シアターZOO」にて、札幌市民を中心にギリシャ悲劇「メディア」の上演を行いました。札幌ではなかなか上演されない古典劇を市民の方々にご覧いただくことが出来ました。また翻訳者の山形治江氏をお招きし、トークを開催することも出来ました。

さっぽろ将棋普及の会

助成金額 282,792円



将棋を指す場の創出と子供の
可能性を引き出す親子教室

「将棋はみんなで指すと楽しい」をコンセプトに子どもから大人までに将棋を指す場を提供しています。子どもの可能性を引き出すため、令和6年度は未就学児から親しみを持てる将棋の絵本の読み聞かせを開催しました。

札幌盆栽文化普及団体 掌(たなごころ)

助成金額 220,000円



北の盆栽マーケット キタぼん

伝統文化「盆栽」で市民をつなげる「まちづくり」をしたいと考えて活動をしています。夏のチ・カ・ホ（札幌駅前通地下広場）にて市内の盆栽愛好家団体等の協力を得て初心者むけ盆栽の販売や無料相談を行いました。

冠基金：CGCこども基金

一般社団法人 相互支援団体かえりん

助成金額 857,000円



おさがり交換会開催と
コードモフリマ会場併設

子育て世帯、妊産婦、子どもを対象に、おさがり交換会とコードモフリマの事業を行いました。交換会は毎回開催を熱望される人気の催しです。コードモフリマは2箇所で開催し、子ども達が物の循環を体験したりSDGsについて学ぶ貴重な機会となりました。

特定非営利活動法人 道産子ヒーロープロジェクト

助成金額 500,000円



道産子ヒーロー・ソーランドラゴンや
忍者の園・学校・施設など巡業事業

各種園・学校・施設・子ども食堂など出演が25回、PR出演1回(東区保育連合会新年会)、試験実施1回、合計27回の教室や出演を実施できました。子ども食堂への出演は、例年にない新しい出来事でした。

特定非営利活動法人 猫と人を繋ぐツキネコ北海道

助成金額 189,600円



親子と猫のボランティア体験

さばーとほっと基金様の助成で始めたこの事業も10年目となりました。お子さんたちに小さな命の大切さを伝え、保護猫のお世話を体験してもらいました。獣医師による体験型の講義では、スポンジを猫に見立てて「手術体験」をしてもらいました。

冠基金：松前孝子こども基金

演劇ユニット わんわんズ

助成金額 680,000円



わんわんズ×ゴマに合同公演
『14歳の国』

地下鉄琴似駅直結の「ターミナルプラザことばにハトス」にて、演劇公演を行いました。「わんわんズ」と「ゴマに」という札幌で活動する2つの劇団による合同公演で、札幌市民の皆さんに名作戯曲の面白さを知っていただくことが目的です。およそ200人の方々にご来場いただき好評を得ました。

一般社団法人 hug cafe

助成金額 103,104円



hug*cafe Project

親子で楽しめる夏祭りや音楽会等のイベントを開催し、多くの方に来ていただきました。子育て中でも学べたり挑戦をしたりできる場や、育児の楽しさ・辛さを共感し励ましあえる仲間作りのきっかけを提供しています。

どこにもないアート教室 ちびちびぽっく

助成金額 130,254円



アートを通じ親子の心の育み
サポート事業

主に北区民センターにて月に1度2歳頃から小学校就学前の幼児及び保護者に向けてアートセラピーの要素を取り入れてアートワークを提供しています。内容は様々な素材を使い家庭ではできないようなダイナミックなアートワークを主とし、のびのびと発散し自由で創造性を育む活動をしました。

冠基金：武ダGEADこども未来基金

子育て支援ワーカーズ 「べりいべりい」

助成金額 231,893円



初めてのことばかりの子育ては
パパもママも同じ、一緒に体験
する事、話を聴いてもらうことで
楽しいと思える子育ての伴走事業

父親の育児参加に自信をもってもらうため、子育ての不安や困り事を留守番を体験しながら解決しました。また、子育て中の夫婦のコミュニケーションの取り方を絵本を通して感じてもらい、育児の喜びを共有してもらいたいと願い活動しています。

i-vent

助成金額 148,560円



Real GeoGuesser

中高生29人で、教育イベント「Real GeoGuesser」を中高生向けに開催しました。本イベントは、北海道新聞や地上波テレビなどの取材を多数受け、さまざまな企業からの支援に繋がりました。

特定非営利活動法人 北海道食の自給ネットワーク

助成金額 208,367円



まるとと学ぼう!!食育講座
2024「食の現地学習」

貸切バスで行く体験学習(対象:小学校3年生～6年生)として、6月は日高町厚賀漁港、9月は安平町の「無何有の郷農園」「またたびFarm」へ行きました。五感を使った体験と漁師さんや生産者さんからの話を通じて、食の大切さや命をいただいていることを伝えました。

特定非営利活動法人 ことばのひろば五億の鈴の音

助成金額 100,000円



大人も子どもも朗読会

全世代参加型の朗読会です。この事業は今年3回目を迎えます。約4か月前に出演者を20名ほど一般公募し、6回のワークショップを重ね、公共施設にて、一般観客の前で希望作品ごとにグループ発表を行うものです。

冠基金：株式会社水章工業 こども基金

特定非営利活動法人 農村と都市を結ぶ応援団

助成金額 388,032円



「札幌近郊の収穫体験などを通じ、
子供達が農業を学び理解を深める
応援事業」

「親子で学ぼう農業・農村体験ツアー」では、江別市でブルーベリーの収穫、当別町でブロックリーの収穫、「サッポロさとらんど」でビザバイづくりとじゃがいもの収穫体験を実施しました。「農業・農村ふれあいフェスタin赤レンガ」では、農産物パネル学習やミニ農業体験などで、子ども達に農業を学んでいただきました。

ちびぽっく

助成金額 130,000円



つながろう!みんなとアートで
ココロもまんまる!

小学生親子を中心として、アートセラピーを取り入れたアート活動を行いました。評価の枠組みから抜け出して、ココロが喜びまんまるになるアート表現を粘土・工作・お絵描き・簡単なからだの動きで行いました。

冠基金：エスエー こども応援基金

特定非営利活動法人 北海道ライフスポーツ推進協会

助成金額 500,000円



小学校スキー授業
応援キャラバン

小学校のスキー授業へスキーインストラクターを派遣することで、先生の負担軽減と授業の安全開催を目的として実施いたしました。事故なく内容の濃い授業ができ、多くの子供たちに楽しくスキーを行なっていただけ、問題解決に寄与することができました。

SKIP

助成金額 102,000円

Sapporo Kids yoga Project SKIP～
カラダ・ココロ・生きる力を育む～

キッズヨガ定期クラスの運営や、子ども主体のやりたいを叶える「SKIP祭り」、ダイヤモンドクラスでの性教育講座などを実施しました。

冠基金：道路工業株式会社 夢クリエイト基金

桑園あそびばプロジェクト

助成金額 416,975円 桑園どこでもあそびばプロジェクト



こどもの自由な外遊び環境の大切さを伝えるため「桑園ご近所あそび」の活動をしています。実際の遊び場でこどもも大人も自由に遊びを楽しんだほか、「あそびば茶話会」で悩みを共有し、「桑園あそびばチャンネル」にて動画形式で発信しました。

札幌人形劇協議会

助成金額 250,000円 人形劇フェスティバル 2025年さっぽろ冬の祭典



市内の人形劇団等がより良質な人形劇を提供しようと、年に1度合同で大規模な作品創りを行います。43回目となる今回は「はっくしゅんしてよ かばくん」を生演奏と共にやまびこ座と教育文化会館で上演しました。

ママの輪

助成金額 100,000円 孤立した子育てを無くし、地域や様々な世代が子どもを見守る環境を作りママとサポートする人を繋ぐ事業



「ママの輪」では、妊娠期から子育て期までの親子を対象に双子や障がいがあっても参加しやすい交流イベントやカフェ・フェスを開催し、専門職や他団体との出会い作りをし子育ての孤立防止と仲間づくりを支援しています。

冠基金：イオン環境基金

札幌インストラクターガイド

助成金額 579,944円 子育て親の「学びたい」と講師の「伝えたい」をつなぎ生涯学習を広げる事業



乳幼児、小中学生の子どもを持つ親に向けて学びの情報発信をしました。ホームページと小冊子にて「乳幼児の家庭教育講座」「家庭教育学級講座」「生涯学習」などの講座情報（105講座）を無料配布したほか、講座を体験できるイベントを厚別区民センターで開催しました。

特定非営利活動法人 北海道環境カウンセラー協会

助成金額 160,000円 増やそう!ミズゴケ 減らそう!CO₂ みんなで進める気候変動対策

札幌市環境プラザで、市民のみなさんの気候変動対策の取組をシールアンケートで尋ね、その内容を参考にパネルとチラシを作成し、展示・配付しました。また、ミズゴケフロート作成や二酸化炭素を知るワークショップも開催しました。

冠基金：札幌日信電子 まちづくり応援基金

フェアトレード北海道

助成金額 500,000円 「だれ一人取り残さない海と大地のフェアトレード」-フェアトレードタウンさっぽろ5周年記念- フェアトレードフェスタ in さっぽろ 2024



PHOTO BRANCHES 山崎枝里子撮影

札幌市民交流プラザ1Fの「SCARTSコート・モール」でフェアトレードを通じて持続可能な社会を構想するイベントを開催し、30団体が出展・活動紹介を行いました。ワークショップには4000人を超える一般市民が参加しました。

冠基金：北海道循環器病院 子どもさぽーと基金

厚別少年野球協議会

助成金額 300,000円 厚別区全小学校対象・大運動会

「つどーむ」にて、厚別区内の小学1年生から6年生の子どもたちを対象に大運動会を開催しました。スポーツ離れが懸念される子どもたちに、スポーツを始めるきっかけとしてもらい、スポーツの楽しさを学んでいただきました。

特定非営利活動法人 ライフアップ

助成金額 104,848円 小・中学生のための「まーじゃん入門」



北海道では、こどもさんが麻雀を習う（または、楽しむ）環境が整備されていないため、小・中学生を対象とした「まーじゃん入門」を開催しました。効用としては「IQアップ」「集中力向上」などがあります。

ガールスカウト北海道第17団

助成金額 100,000円 宿泊を伴う組織キャンプ体験活動を通じて、少女と若い女性一人一人が持つ可能性や能力を社会の中で生かす自己肯定感向上事業



幼児～高校生までのガールスカウトと地域の親子を対象に、2泊3日の野営キャンプを実施。防災食を含む野外料理、ロープ結びや救急法などの防災スタンプラリー、キャンプファイヤーなどを楽しみました。お互い肯定的な言葉を掛け合い、笑顔あふれる時間となりました。

特定非営利活動法人 モエレ沼公園の活用を考える会

助成金額 356,864円 モエレ未来の森づくり 2024



モエレ沼公園の「サクラの森」において、より美しく豊かなモエレ沼公園の自然環境を次代に引き継ぐことを目的に、2024年の6月7・8日の2日間にわたり、参加した40名のご家族と共に間伐や植樹活動を行いました。

エシカルンテさっぽろ

助成金額 210,000円 「未来につながるエシカル藍&野菜畑プロジェクト」親子で楽しむ農作業と藍&野菜の活用体験講習会



皆さまのご支援のおかげで、親子が農業体験や藍染め、藍料理を通じて、自然との共生や生命の循環を楽しむ学び場を提供することができました。持続可能な未来への意識を育む機会をいただけたことに、心より感謝申し上げます。

清田区民コンサート実行委員会

助成金額 200,000円 第23回清田区ふれあいコンサート



平成9年の誕生以来、毎年秋に清田区民ホールにてプロの音楽家による演奏を行っています。「身近なところで」「誰でも音楽に」「低料金で」本格的な生のクラシック音楽を聴ける場の提供」をモットーに実行委員会形式で運営し、未就学児の入場も可能です。

冠基金：HRMホールディングスグループまちづくり応援基金

北海道吹奏楽プロジェクト

助成金額 901,973円 「北海道吹奏楽フェスティバル」特別演奏会 開催事業



札幌市教育文化会館大ホールに社会人・スクールバンド・プロ奏者300名以上が集い、音楽を通して世代間交流とプロアマ交流、健常者と障がい者の交流を実現。約900名の聴衆へ良質な吹奏楽コンサートをお届けしました。

北野地区町内会連合会

助成金額 500,000円 さまざまな世代が一つになって夏を楽しむ～「第32回北野ふれあい夏まつり」



清田区北野地区の厚別川|河川敷において地域住民を対象に夏祭りを開催しました。バンド演奏や太鼓、合唱団など地域で活動している団体などのステージイベントや地域のお店が出店し北野地区の魅力を発信しました。

冠基金：北電力設備工事(株)60周年記念 まちづくり基金

北海道NGOネットワーク協議会

助成金額 133,038円 北海道国際協力フェスタ2024



貧困格差や紛争等、地球規模の課題解決に取り組むNGO、市民が協力し、途上国の現状・課題を札幌市民に伝えました。国際協力に対する理解を促す機会として28年続いているイベントで、2025年は12/6（土）北海道 크리스チャンセンターにて開催。

冠基金：札幌市管工事業協同組合あんしん基金

東日本大震災復興支援「子どもを守ろうよ」の会

助成金額 107,430円 第15回東日本大震災復興支援「子どもを守ろうよ」の会 やまびこ座公演



岩手県の被災者と福島県から避難し市民となった人々との交流を通して、文化芸能という形でメッセージを伝え、東日本大震災がもたらしたものの、また平和について市民が改めて考えるきっかけを作る公演です。

特定非営利活動法人 あえりあ

助成金額 500,000円 自然に福祉や介護に触れちゃう「あえりあマルシェ」開催



福祉や介護に関心がない方も、「おいしい」「たのしい」「うれしい」から「気付いたら福祉・介護にも触れていた」になる場をつくるため、令和6年10月6日（日）に、やわらぎ斎場新琴似にて「あえりあマルシェ」を開催し、400名以上が参加しました。

冠基金：北央道路工業株式会社 地域あんしん基金

特定非営利活動法人 はる

助成金額 350,000円 子ども支援者ウェルビーイングのためのワークショップ



対人支援現場の離職や「しんどさ」という課題を背景に、教員や福祉支援者等65名が参加するワークショップを開催。支援者のウェルビーイングをテーマに対話を重ね、地域の多様な支援者のネットワークを築きました。

冠基金：札幌生コンクリート協同組合子ども育成基金

一般社団法人 手稲まちづくりネットワーク

助成金額 100,000円 放課後に自由にほっとして過ごせる居場所づくり



地域の人たちが心豊かに支えあう社会を作ることを目的に「つながり」を大切に活動をしています。子ども食堂のほっとーむ・ソアレ、夕暮れなごみ場、落語会やライブの開催、生活支援サービス事業等を行っています。

特定非営利活動法人 北海道歩くスキー協会

助成金額 0円※ 第50回道民・札幌市民歩くスキーの集い兼第11回海野公園 クロスカントリースキー記録会



※助成金を活用せずに事業を実施できたため、0円となりました

雪のある北海道で手軽にできて、自分の体力、技量に合わせて楽しめる「歩くスキー」。国営海野すずらん丘陵公園「つどいの森」で開催した歩くスキーの集いおよびクロスカントリースキー記録会では、多くの参加者が競技を楽しみました。

スタートアップ助成事業

福祉のしゃべりば

助成金額 100,000円 福祉に関わる、関わりたい全ての方のサードプレイスをつくる「福祉のしゃべりば」事業



福祉に関わる人々が孤軍奮闘することなく、誰もが支え合い、高め合えるサードプレイスを作りました。活動やプライベートとは異なるこの場所が、新たなつながりと活力を生み出します。

蝦夷village

助成金額 100,000円 本格的な音楽を（障がいがあってもなくても）誰でも自由に楽しみ体験できる演奏会



会場アクセスやトイレほかの設備が限定され周囲の観客への配慮を要するなど、安心して演奏会等へ参加することに懸念のある障がい当事者ご家族、および市民全般が対象。本格的な管弦打楽器バンドを間近で鑑賞し合奏体験も行いました。

スタートアップ助成事業

nipocafe サークル

助成金額 **99,976円**



～次世代まで健康と笑顔を叶える～
親子の栄養チャージnipocafe

お子さんの年齢に合わせ管理栄養士を目指す未来の親世代となる学生を主体とし、託児付き親子の栄養&リラックスチャージカフェを定期開催しています。栄養チャージランチ・レシピー・フリープレートの提供に加え、管理栄養士に栄養・健康相談ができる場を創造しました。参加された沢山の妊婦さんや授乳婦さんは、何をどのように食べたら良いのかを知り、離乳食の悩みの解決の場となったことを喜んでいらっしゃいます。

NPO海洋プラスチック問題対策プロジェクト・トпка

助成金額 **63,312円**

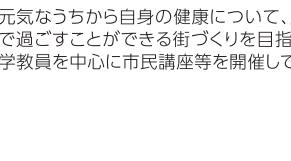


プロ作家による海洋プラスチックの
アクセサリ作り&海ゴミ講話
ワークショップ

海洋プラスチック問題の実態を伝え、大量生産・大量消費社会を見直すきっかけ作りとビーチクリーンの大切さを伝えるため、問題に関心がある層に向け札幌市中央区で講話とアップサイクルワークショップを開催しました。

ホームホスピス北海道

助成金額 **76,922円**



人生100年時代を生きる～自分の
人生を生きたい場所で賢く過ごす～

元気なうちから自身の健康について、見直し、いつまでも元気で住み慣れた地域で過ごすことができる街づくりを目指しています。令和3年から医師・看護師・大学教員を中心に市民講座等を開催しています。

Lila bounce park

助成金額 **59,537円**



はじめまして産後ケアさっぽろ

産後の母親には心身ともに大きな負担がかかりますが、「母親のため」の講座はわずかしかなりません。母親たちが自身の心身の変化を理解し、バランスボール運動や仲間との交流で孤立感を防ぎ、産後うつ予防を目指します。

テーマ指定：ウェルネス

八百カフェ学生実行委員会

助成金額 **1,517,795円**



子どもから高齢者まで幅広く対象とし、農家や学生、住民による出店、パフォーマンス、健康相談などを行うマルシェを実施。大学生が授業課題として始めた企画を地域と連携して、交流と居場所づくりを目的に行なっています。

特定非営利活動法人 北海道心不全医療連携アカデミー

助成金額 **1,426,243円**



全世代を対象とした心不全発症
予防に関する啓発活動を通じた
健康寿命延伸事業

心不全は早期から正しく介入することで予防可能です。一般市民に向け自己管理の重要性を啓発するため、絵本を作成して市内図書館などに配布しました。また市民イベントで絵本を活用した健康増進活動も実践しています。

特定非営利活動法人 勇者の会

助成金額 **1,386,143円**



笑顔から始まる いのちの大切さ

入院中のお子さんにエールバッグを配布。道内の四季を撮影し北海道医療センター・北海道難病連で上映体験と撮影した映像を使い魚釣り・提灯アート・プラネタリウム体験などを行って、皆さんに笑顔を届けました。

特定非営利活動法人 たすけ愛ふくろう清田

助成金額 **500,000円**



心と体の健康回復を、地域総合力
でお手伝いする事業

地域の会館で健康相談や健康づくり体操などを行いました。ウェルネスコーチの話や「健康習慣」の講演、体組成計体験等で参加者自身の健康状態を知っていただきアドバイスの実施。ヨガ、太極拳などの体験やサロンの参加案内も行い、今後へとつなげました。

特定非営利活動法人 ねっこぼっこのいえ

助成金額 **1,500,000円**



多世代多様な人々が集うことで孤立・孤独を
回避し、安心した関係性を紡ぎ直し、より心身の
健康を獲得できるようなポストコロナに
ふさわしい居場所を醸成する事業

「ねっこぼっこ」の拠点を中心に、コロナ後関係性を紡ぎ直している地域のさまざまな世代・状況にある方が、多様な関係性を、双方向の支え合いの力を引き出し合う形で培える日常的な場創りと学びの場創りを試みました。

NPOボラギャング

助成金額 **1,400,064円**



食を通じた健康づくりと孤立・
孤独を抱えるすべての世帯が
繋がるコミュニティ事業

地域に移り住む新しい世帯が増えているため、コミュニティの再構築が必要とされています。北区で子ども・子育て世代・地域住民向けに食を通じた居場所やサロンづくりに取り組み、誰でも参加できるイベントを開催しました。

特定非営利活動法人 札幌歩こう会

助成金額 **822,368円**



ウォーキングイベント

国籍、性別、年齢問わず障がい者を含む全ての人を対象に「第28回北の都札幌ソーデーウォーク」を札幌市中島公園で開催したほか、年間を通じて主に会員を対象とした50回以上の例会及び関連ウォーキング事業を実施。

特定非営利活動法人 雪氷環境プロジェクト

助成金額 **400,000円**



生きがいと健康を育みながらつなげる
コミュニティ「さっぽろうたごえプロジェクト」

私たちは雪氷冷熱エネルギーの普及・理解促進を目指すNPO法人です。活動の過程で地域コミュニティ活性化を行うようになりました。特に脳を活性化し認知症予防にも効果があると言われる音楽療法に力を入れ、「歌声喫茶」をヒントにした高齢者の健康増進活動を進めています。

寄付の実績

寄付金合計 **2,286件 56,810,323円**

■ 指定区分別

団体指定	177件	11,945,500円
分野指定	82件	7,225,252円
冠基金	15件	13,270,000円
後日指定	5件	3,380,000円
指定なし	2,007件	20,989,571円

■ 寄付者別

個人からの寄付	2,207件	24,548,200円
企業・団体からの寄付	79件	32,262,123円

助成の実績

助成合計 **128団体(140事業) 51,363,060円**

団体指定	52事業	19,983,541円
分野指定		
まちづくりの推進	3事業	1,500,000円
学術、文化、芸術、スポーツの振興	5事業	1,055,394円
子どもの健全育成	4事業	1,218,080円
保健、医療、福祉の増進	6事業	1,601,674円
テーマ指定		
ウェルネス	8事業	8,952,613円
スタートアップ	6事業	499,747円

冠基金		
武ダGEADこども未来基金	4事業	688,820円
札幌生コングリート協同組合こども育成基金	1事業	100,000円
あおぞら銀行札幌支店60周年記念 まちづくり応援基金	1事業	500,000円
さくら佐藤建設株式会社 夢 みんなのまちづくり応援基金	1事業	230,000円
札幌日信電子 まちづくり応援基金	2事業	700,000円
北ガス 札幌市を元気にまちづくり応援基金	1事業	300,000円
北央道路工業株式会社 地域あんしん基金	1事業	350,000円
エスエー こども応援基金	3事業	732,000円
北電力設備工事(株)60周年記念 まちづくり基金	1事業	133,038円
道路工業株式会社 夢クリエイト基金	3事業	766,975円
あいおいニッセイ同和損保 環境基金	1事業	250,000円
「安田・三兼」まちづくり応援基金	2事業	700,000円
長内 芸術振興基金	5事業	1,782,792円
新弘設備工業55周年記念 まちづくり基金	2事業	387,289円
株式会社水草工業 こども基金	1事業	388,032円
アリヤス基金	3事業	1,000,000円
北海道循環器病院 子どもさぼーと基金	3事業	504,848円
札幌クリーニング協同組合環境美化基金	1事業	480,000円
アサヒ住宅福祉応援基金	2事業	262,048円
HRMホールディングスグループまちづくり応援基金	3事業	1,901,973円
札幌市管工事業協同組合あんしん基金	2事業	107,430円
ひまわりピアサポート基金	3事業	520,000円
松前孝子こども基金	3事業	913,358円
CGCこども基金	3事業	1,546,600円
イオン環境基金	4事業	1,306,808円

登録団体

316団体 (令和7年9月30日現在)

寄付者のご紹介

氏名・寄付金額の公表に同意していただいた方々

※公表に同意していただいた方のみのご紹介です。(敬称略、寄付順) ※ふるさと納税ポータルサイトを通じていただいた寄付は、返礼品等の必要経費を除いた金額を掲載しております。

株式会社オーフ	5,080,000円	徳永 壮一郎	7,250円
さっぽろこどもサポート事業「福服ギフト」実行委員会	48,381円	岸野 友泰	6,500円
札幌生コンクリート協同組合	950,000円	石川 信行	200,000円
北海道相互建設株式会社	1,000,000円	株式会社ふじ研究所	500,000円
伊藤 秀敏	100,000円	寒川 悠也	30,000円
深瀬商事株式会社	253,600円	金 珍英	24,000円
株式会社HYK	120,000円	大槻 正輝	15,000円
株式会社水草工業	820,000円	石田 雅人	5,000円
井東 陽	16,000円	小島 義晃	5,000円
北土建設株式会社	50,000円	吉田 健吾	5,000円
札幌市管工事業協同組合	1,120,000円	北村 崇了	5,000円
株式会社ヤシマ商会	700,000円	竹島 大達	5,000円
株式会社田中組	100,000円	佐野 兼士	6,000円
株式会社第一エンジニアリング	300,000円	渡邊 誠	5,000円
南雲 陽一	7,000円	山形 真二	4,000円
三嶋 政行	3,500円	中本 雄司	3,500円
小林 敏	7,250円	小出 裕樹	5,000円
小柏 伸一郎	3,500円	猿渡 朗	5,000円
岡田 星	7,250円	桑鶴 祥徳	5,000円
宮川 潤平	7,250円	佐々木 郁弥	5,000円
松尾 好誠	3,500円	小池 和幸	10,000円
児玉 威一郎	10,000円	中西 洋志	9,500円
株式会社翔継	1,000,000円	松田 顕吾	10,000円
山田 陽介	7,500円	葛西 美紀	4,000円
松園 悠起子	5,000円	八木 亮祐	10,000円
小林 千恵美	25,000円	三崎 貴徳	9,500円
大隈 啓至	7,250円	三徹 工業	26,000円
山田 優子	5,000円	株式会社マテック	1,000,000円
上田 幸男	7,250円	平 直也	7,250円
唐金 吉弘	11,500円	原田 裕次	13,000円
株式会社澤木テック	1,000,000円	下山 勝次	3,500円
五島冷熱株式会社	100,000円	小田切 李恵	5,000円
旭イノベックス株式会社	50,000円	北條 彰人	25,000円
和田 篤子	7,000円	山口 渉	5,000円
田中 等	5,000円	河原 啓太	6,000円
山田 恭平	5,000円	福原 大輔	7,250円
名須川 昭範	24,000円	拓友建設株式会社	100,000円
藤原 志俊	7,250円	渡辺 裕介	5,000円
加藤 隆史	10,000円	大井 務	7,250円
岩阪 友典	50,000円	山口 哲史	10,000円
久保山 寛之	3,500円	加藤 進	3,500円
櫻井 俊一	50,000円	堀尾 昭二	14,500円
西田 啓人	5,000円	加藤 英之	5,000円
賀来 亨	50,000円	松本 美月	5,000円
武田産業株式会社	100,000円	田崎 雅士	5,000円
北開工営株式会社	600,000円	金子 幹也	5,000円
水戸岡 英雄	7,250円	岡島 幹樹	5,000円
奥田 貴子	5,000円	松山 龍泰	12,750円
土川 浩斗	5,000円	山梨 正俊	7,500円
大塚 洋亮	10,000円	後田 萌貴	5,000円
増谷 剛	7,250円	宮崎 歩	5,000円
塩飽 堯之	3,500円	友野 硬史	7,250円
大石 慶太郎	8,500円	服部 隆史	3,500円
増子 杏奈	5,000円	大町 悟郎	7,250円
佐々木 万里子	9,500円	及川 茂	6,500円
川島 由也	4,000円	一般財団法人北海道郵便局長協会	500,000円
伊藤 勇丞	5,000円	坪田 正勝	30,000円

湯川 靖司	30,000円
八百坂 康子	30,000円
二階堂 友彦	10,000円
株式会社エコシティ	100,000円
桑嶋 英典	30,000円
井本 辰浩	3,500円
株式会社宮田屋珈琲	113,747円
ポッカサッポロ北海道株式会社	317,153円
株式会社ESG	1,000,000円
株式会社丸新岩寺湯の郷紬ほのか	53,878円
中瀬 清	120,000円
HRMホールディングス株式会社	1,000,000円
北海道ロードメンテナンス株式会社	1,000,000円
ロード機工株式会社	250,000円
北海道ロード運輸株式会社	250,000円
大善建設株式会社	250,000円
ダイワ整備機工株式会社	250,000円
境 妙子	50,000円
松田 脩平	15,000円
株式会社HYK	5,000円
ミニさっぽろ2024実行委員会	9,544円
株式会社エネサンス北海道	3,000,000円
雪印メグミルク株式会社	106,840円
札幌日信電子株式会社	1,000,000円
イオン北海道株式会社	100,000円
笹本 洋介	3,500円

寄付者のご紹介

氏名の公表に同意していただいた方々

※公表に同意していただいた方のみのご紹介です。(敬称略、寄付順)

アース税理士法人	内田 悠貴
佐藤 日出夫	佃 保史
一般社団法人北海道まちづくり協議会	藤田 風斗
高田 慶子	増野 直哉
松澤 文夫	平野 秀夫
太田 行信	ムトウ建設工業株式会社
北海産業株式会社	松田 一哉
武ダホールディングス株式会社	岩崎 和久
株式会社竹原鉄工所	海原 万輝
岩田地崎建設株式会社	松永 翔太
勇建設株式会社	小池 陽三
パインツリー株式会社はりきゅう・きのえ	相本 呼嵐
新太平洋建設株式会社	宮本 裕介
太田 広三	小川 裕太
興野 洸	佐藤 壮也
株式会社札幌夜間動物病院	佐藤 紀代子
浜本 よりゑ	北星建設株式会社
伊藤 史悟	小宮山 敬典
曾我 哲也	佐藤 ゆみ子
株式会社白樺山荘	下野 哲雄
村上 守	春原 啓慶
Northern Home合同会社	高島 尚之
蒔田 真基	及川 創
三浦 伸一	小泉 亮
吉田 文	日本緑化工株式会社
山下 靖宏	井口 裕美
福島 航平	米田 靖
長谷川 稔	小山 雄司
山田 晃一	鈴木 健太
堅木 健	山本 朋恵
上田 遥奈	ライラック興業株式会社
榊原 京	十河 哲也
株式会社ききのとや	株式会社クリーンアップ
株式会社荏原製作所	鹿島舗道工業株式会社
株式会社セコマ	須藤 大
株式会社わらく堂	
若林 毅	
村瀬 凌	
大門 裕貴	
石井 晶裕	
宮田 良明	
馬場 潤一郎	
株式会社北洋銀行	
小倉 良彦	
樋口 淳一	
秦 さおり	
安藤 祐希	
飯村 拓哉	
荒木 美穂	
平野 真一郎	
波元 玲奈	
安永 一樹	
村上 利文	
武田 俊雅	
本田 拓也	
福山 哲平	
山田 忍	

